

第3次 潟上市子ども読書活動推進計画



令和5年3月

秋田県潟上市

目 次

第 1 章 計画の策定にあたって

1 趣旨	1
2 国・県の動向	1
3 計画の位置付け	2
4 計画の期間	2
5 計画の対象	3
6 目指す指標	3

第 2 章 子どもの読書活動推進のための具体的方策

基本目標

「地域・就学前施設及び学校・図書館における子どもの
読書活動の推進」

1 地域での読書活動の推進	4
2 就学前施設及び学校での読書活動の推進	5
3 図書館での読書活動の推進	7
各種指標	10

第1章 計画の策定にあたって

1 趣旨

平成13年に施行された「子どもの読書活動の推進に関する法律」第2条で「子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものである」とうたわれています。

第2次計画から5年が経過し、令和5年3月末で計画された期間が満了するにあたり、これまでの取組の成果や課題を検証し、今後も継続的な取組を推進するために「第3次潟上市子ども読書活動推進計画」を策定し、次世代を担う心豊かな子どもたちを育成するため、引き続き読書活動の充実と環境の整備に努めてまいります。

2 国・県の動向

国においては、平成30年に「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画（第4次基本計画）」を策定し、発達段階に応じた取組や、友人同士で行う活動等を通じて読書への関心を高めることなどを方向性として、子どもの読書活動推進の方策を示しました。

また、秋田県においても、令和3年3月に「第3次秋田県読書活動推進基本計画」を策定し、家庭、学校、職場、地域における読書活動の推進と県民協働による読書活動の推進を施策体系の4つの柱として、様々な取り組みを行っています。

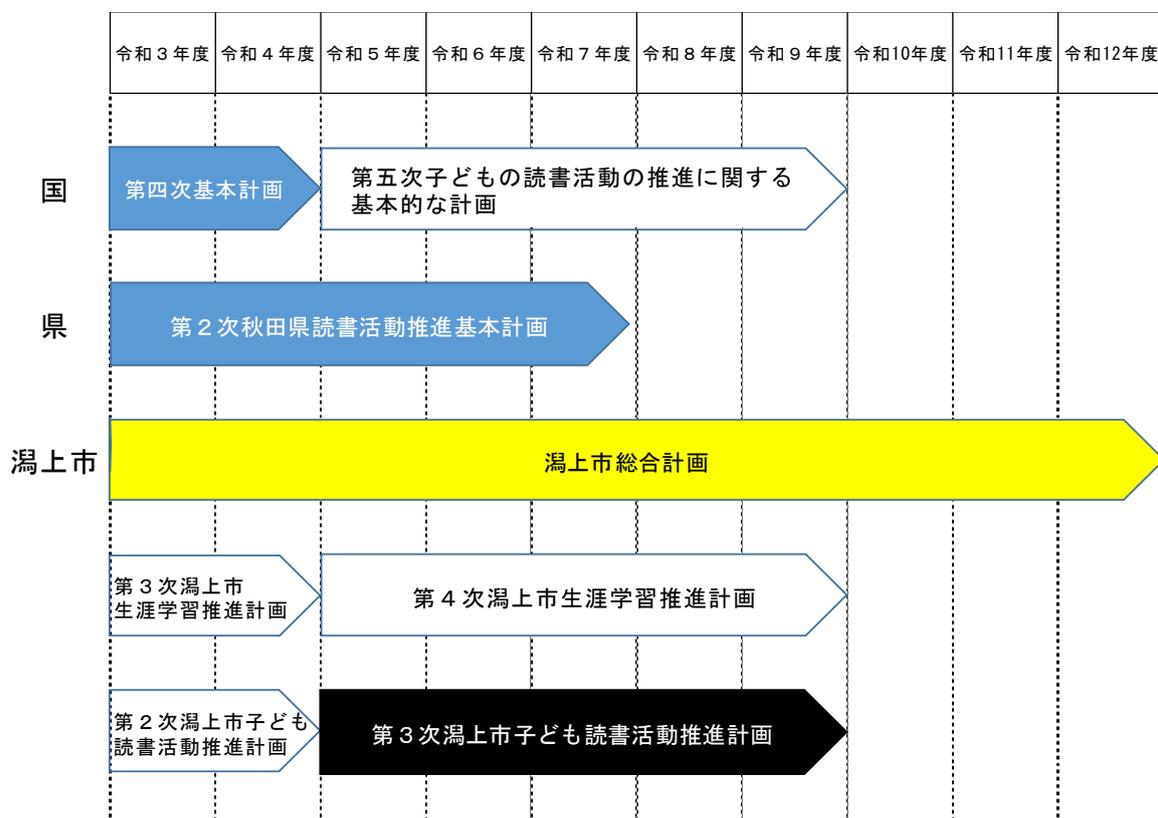
3 計画の位置付け

本計画は、子どもの読書活動の推進に関する法律第9条第2項に規定する「当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画」として、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」及び「秋田県読書活動推進基本計画」を基本とするとともに、上位計画である「第2次潟上市総合計画」、「第4次潟上市生涯学習推進計画」と整合性を図りつつ、各種施策を策定します。

4 計画の期間

令和5年度から令和9年度までの5年間です。

ただし、具体的な施策については、国及び県の動向を踏まえながら、必要に応じて見直しをするものとします。



5 計画の対象

この計画の対象はおおむね 18 歳未満の子どもとしますが、地域、学校、図書館、ボランティア等の子どもの読書活動と関わりのある市民や団体も対象とします。

6 目指す指標

指標	単位	令和 3 年度 (現状値)	令和 9 年度 (目標値)
児童書の貸出冊数	冊	14,965	15,114
児童書の蔵書冊数	冊	34,926	36,672
団体貸出 (Katato 事業) 件数	件	111	112
団体貸出 (Katato 事業) 冊数	冊	1,013	1,023



第2章 子どもの読書活動推進のための具体的方策

基本目標

「地域・就学前施設及び学校・図書館における子どもの読書活動の推進」

1 地域での読書活動の推進

〈現状〉

- ・身近な施設でも本と触れ合う機会を得られるよう、各地域施設に本を設置しました。また、放課後児童クラブへ団体貸出（Katato事業）を行うことにより、読書に親しむ環境の充実に努めました。
- ・地域の読み聞かせサークルへ講師を派遣することで、サークルのスキルアップを図りました。

〈課題〉

- ・子どもの読書活動は、本と親しむ環境を作ることが重要なことから、引き続き、団体貸出（Katato事業）や、読み聞かせサークルと協力のもと、読書環境の充実に努める必要があります。

〈今後の取組〉

- ・団体貸出（Katato事業）を通じて、読書環境の充実に努めます。
- ・地域の読み聞かせサークルへ講師派遣や、県内で行われる講習の情報を提供することで、読み聞かせのスキルアップを図ります。
- ・読書拠点に児童書を配置し、本と親しむ環境を整えます。
- ・団体貸出（Katato事業）の対象を拡充し、介護施設や病院内保育所、児童クラブでの読書活動を支援します。

2 就学前施設及び学校での読書活動の推進

〈現状〉

- ・全ての就学前施設において、市内読み聞かせサークルや幼稚園教諭、保育士による読み聞かせが積極的に行われています。
- ・読み聞かせ活動を支援するため、大型絵本をはじめとする図書資料の団体貸出（Katato 事業）を行っています。
- ・園外保育等で図書館を訪問し、子どもたちが本にふれる機会をつくりました。
- ・学校の朝読、昼読の時間に、読み聞かせサークルによる読み聞かせを行いました。
- ・学校サポーターや図書館支援員が児童生徒へ、レファレンスや学習支援を行っています。学校へ学習関連図書資料等や団体貸出（Katato 事業）を行い、学習支援と読書活動の推進を図っています。



（読み聞かせサークルによる読み聞かせ）

〈課題〉

- ・学校サポーターや図書館支援員と連携することにより、学校図書館の環境整備、読書活動が充実しつつあるものの、引き続き団体貸出（Katato 事業）等により支援していく必要があります。
- ・中学生までに読書習慣を身に付けることが、高校生以降の読書習慣に繋がることから、中学生に対して図書館に対する理解を深め、親しみを持ってもらう必要があります。

〈今後の取り組み〉

- ・就学前施設で行う読み聞かせ活動を推進していきます。
- ・図書館で行われる読み聞かせ会の情報を就学前施設に提供し、参加を呼び掛けるとともに、読み聞かせに対する理解を深めてもらいます。
- ・多様な読書活動の機会をつくり、様々な本に触れあってもらうため、図書資料の団体貸出（Katato 事業）や子どもたちが図書館を訪問する機会をつくり、公共図書館と就学前施設の連携・協力を図ります。
- ・小学校、中学校と連携を図り、企画展示や選書体験などを通じて、児童生徒の図書館に関する理解を促します。



（中学生による職場体験（キャリア・スタート・ウィーク））

3 図書館での読書活動の推進

〈現状〉

- ・ 小学校の授業における図書館見学を積極的に受け入れ、実際に貸出体験をすることにより、図書館業務の理解や利用促進を図りました。また、図書利用カードの作り方を説明したことにより、図書館見学後に自分の図書利用カードを作りに来るなど、新規利用の促進に繋がりました。
- ・ 大型絵本リストや貸出図書リストを作成し、就学前施設や小・中学校へ配付し、団体貸出（Katato 事業）の利用を促進しました。
- ・ 定期的な読み聞かせ会を開催し、本に親しむきっかけの場を提供しました。
- ・ 読み聞かせサークルに講師を派遣し、読み聞かせのスキルアップに努めました。
- ・ ブックスタート事業では、市の子育て応援課と連携し、4か月児健診時にブックスタートパックを配付することで、乳幼児と保護者が絵本を通して心触れ合う時間を持ち、乳幼児期からの家庭での読書環境を整えるきっかけとなりました。



（ブックスタートパック）

〈課題〉

- ・ 現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、4か月児健診が医療機関での受診となっているため、ブックスタートパックを直接手渡すことができない状況にあります。子どもの発達に応じた読書活動が重要なことから、おすすめ図書リストを同封し郵送するなど、乳幼児期からの図書館利用の促進が必要となります。
- ・ これまで図書館に来たことがない保護者にも、子どもと一緒に図書館へ足を運んでもらえるような働きかけが必要です。

〈今後の取り組み〉

- ・ 本館及び分館の児童図書のうち、利用頻度の高く、傷みの激しい図書の入替えを行い、利用の促進を図ります。
- ・ 分館の児童図書の充実を図ります。
- ・ ブックスタート事業を通して、保護者に乳幼児期からの読み聞かせに対する理解と啓発に努めます。
- ・ 0歳から図書カードを持つことができるようにすることで、乳幼児期からの図書館利用を促進します。
- ・ 小学校入学予定者に対し、入学説明会で図書利用カード申込書を配布することで、新規に作成しやすい環境をつくり、図書館利用を促します。
- ・ 保護者と子どもと一緒に読書を楽しみ、子どもの読書習慣の形成を支援します。
- ・ 子どもの本の選び方や読み聞かせの手法等について、保護者からの読書相談に応じ、家庭での読書活動を支援します。
- ・ 市広報やホームページ、SNSなどを活用し、情報提供を図ります。

○潟上市図書館ホームページ

<http://library.city.katagami.akita.jp/>



(QR コード)

○潟上市ホームページ

<https://www.city.katagami.lg.jp/>



(QR コード)

○潟上市 LINE 公式アカウント

アカウント名 : 潟上市 (Katagami City)

ID : katagamicity



(QR コード)

○潟上市公式ツイッター

アカウント名 : 潟上市

ID : @katagami_city



(QR コード)



各種指標

Katato 事業の実施状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
貸出件数 (件)	40	57	20	47	111
貸出冊数 (冊)	291	495	367	831	1,013

読み聞かせサークルへの講師派遣

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
派遣回数 (回)	12	12	11	11	12

読書サークルへの講師派遣

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
派遣回数 (回)	31	46	45	36	25

地域読書拠点配置数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
設置数 (箇所)	1	1	2	4	4

ブックスタートパック配付数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
配付人数 (人)	215	157	185	154	150

各学校の蔵書数

区分	学校名	令和3年度末			
		学級数 (学級)	標準冊数 (冊)	蔵書数 (冊)	蔵書達成率 (%)
小学校	天王小学校	14(2)	8,760	10,024	114.4
	出戸小学校	9(2)	6,520	7,847	120.4
	東湖小学校	8(2)	6,040	6,510	107.8
	追分小学校	18(3)	10,360	8,747	84.4
	大豊小学校	10(3)	7,000	9,989	142.7
	飯田川小学校	8(2)	6,040	6,546	108.4
中学校	天王中学校	11(2)	10,160	8,691	85.5
	天王南中学校	12(2)	10,720	10,788	100.6
	羽城中学校	7(0)	7,920	10,188	128.6

※()は特別支援学級数

資料：教育総務課



「第3次潟上市子ども読書活動推進計画」 に対するパブリックコメントの実施

「第3次潟上市子ども読書活動推進計画」について、以下のとおりパブリックコメントを実施しました。

1 意見の募集概要

(1) 意見の募集期間

令和5年2月1日（水）～令和5年2月21日（火）

(2) 意見募集の周知方法

広報かたがみ、市ホームページ

(3) 閲覧場所

市ホームページ、潟上市図書館（本館）

天王・昭和・飯田川・追分出張所

(4) 意見の提出方法

持参、郵送、ファックス、Eメール

2 意見募集の結果

意見の件数 : 0件